



水道水の濁りの原因と対応について



水道水の濁りの原因

水道工事による断水や火災により消火栓を使用した場合、水道管内の水が流れる速さや方向が変わるため、水道管に長年蓄積された錆びた鉄分がはく離して赤水となり、皆様のご家庭の蛇口から出る場合があります。

また、水の流れる圧力が急激に変化することにより、水に溶け込んだ空気が気泡となり、白く濁って見えることがあります。

水道課では、赤水が発生した時は、道路内にある排泥管や消火栓から濁った水を強制的に排出し、きれいにしています。

もし、皆様のご家庭の蛇口から赤水などが出た場合は、以下の対応によるご協力をお願いします。



赤い水が出たとき

■ 原因

道路内の水道本管で発生した赤水は、排泥管や消火栓から強制的に排出しますが、一部が皆様のご家庭の給水管に流入し、蛇口から赤水が出る場合があります。

■ 安全性

赤水の原因は鉄分であり、鉄分は人体にとって必要な成分で、鉄分を含んだ水道水を飲んでも人体の吸収率は低く、大部分がそのまま体から排出されます。これによる健康被害などの心配はありませんが、洗濯時には衣服が変色することがあります。

■ 対応

コップ等に水道水を入れて赤みがある時は、飲用や洗濯は控えてください。

対応として、暫く赤く濁った水を蛇口から流して、無色透明なことを確認してから飲用してください。流した水道水はバケツなどに溜めて、樹木や庭の散水等に使用できます。



白い水が出たとき

■ 原因

水道工事などにより、水道管の中の水道水の流れる圧力が急激に変化すると、水に溶け込んだ空気が気泡となるため、白く濁って見えることがあります。

また、給湯器の中で水が急激に加熱されると水に溶け込んでいた空気が飽和して小さな気泡となって現れ、お湯が白く濁って見える場合があります。

■ 安全性

いずれの場合も水に溶け込んだ空気(窒素、酸素、二酸化炭素等)であるため、飲用しても健康に影響ありません。

■ 対応

無害であり、自然に消滅するため、対応の必要はありません。



錆びが出たとき

■ 原因

鉄が空気に長期間触れると錆びると同様に、鉄製の水道管が水に触れると徐々に錆びてきます。この錆が水道の使い初めなどに、はく離して蛇口から出る場合があります。

■ 安全性

鉄分は人体にとって必要な成分であり、鉄分を含んだ水道水を飲んでも人体の吸収率は低く、大部分がそのまま排出されます。(詳細は「赤い水が出たとき」参照)

■ 対応

コップ等に水道水を入れて錆が混入している時は、飲用は止めてください。

対応として、暫く水を蛇口から流して、錆びの混入がなくなったのを確認してから飲用してください。最近では、錆びを防ぐために、内面に樹脂の塗装が施された水道管が普及していますので、長期間錆びが出る場合は新しい水道管への工事をお勧めします。



砂が出たとき

■ 原因

水道工事では、古い水道管を切って新しい水道管と接続することがあります。接続する時には、砂や泥が水道管の中に混入しないよう細心の注意を払い、管内の洗浄を十分に行ってから接続していますが、極くまれに水道管の中に砂が混入してしまうことがあります。また、水道管に亀裂等があると、断水した場合や水道管の圧力が低下した時などに砂や泥が亀裂から水道管に入り込むことがあります。

■ 対応

水道工事が原因の場合は、一時的な現象ですので、水を暫く流すと砂はなくなります。

水道管の亀裂がある場合は、長期間砂などが混入します。水道管の調査と新しい水道管への工事が必要となります。



水道水から臭いがしたとき

■ 原因

水道水は、コレラや赤痢などの細菌やO-157のような病原性大腸菌を死滅させる効果がある塩素(カルキ)で消毒しています。そのため、水道水は塩素の臭いがします。塩素の注入は、必要最小限にしています。

■ 対応

塩素の臭いが気になる場合は、煮沸や汲置き、冷やすことにより、臭いを軽減または解消することができます。

ただし、この場合は消毒効果が無くなりますので早めに消費してください。